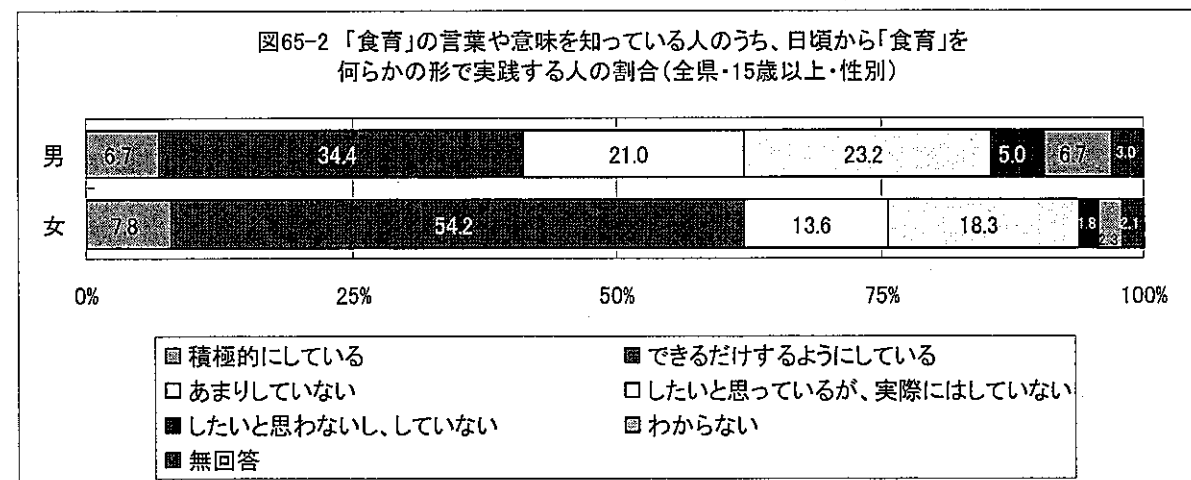
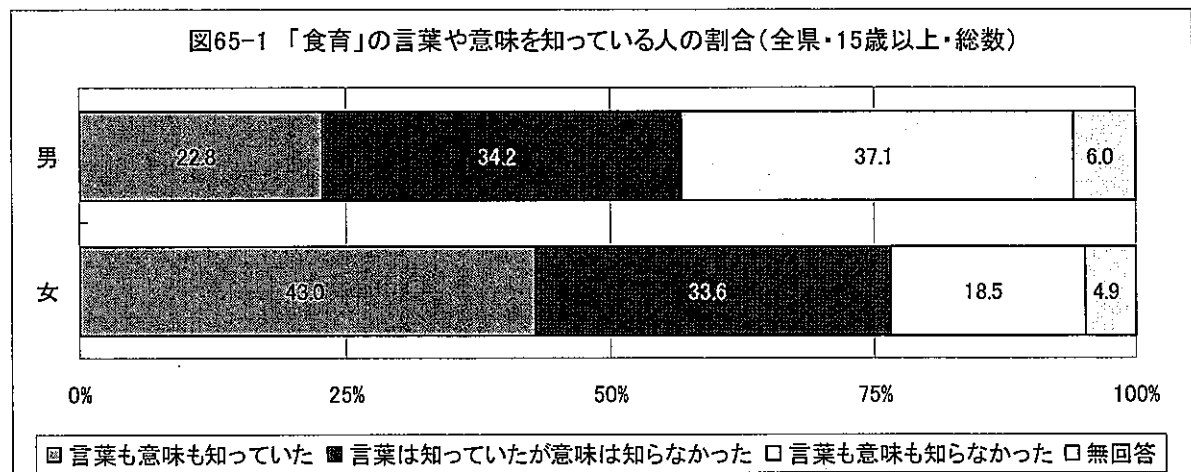
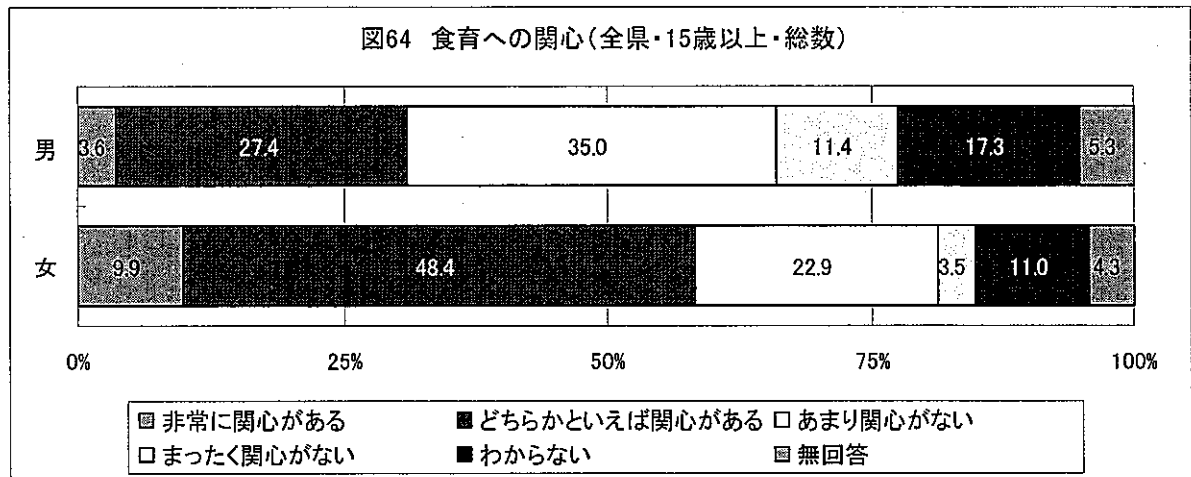


6 食育への関心、実践状況

食育に“関心がある”人は、男性 31%、女性 58.3%であった。

食育の実践状況では、“食育の言葉や意味も知っていた”人が、男性 22.8%、女性 43%、そのうち、“積極的に実践する人”が、男性 6.7%、女性 7.8%、“できるだけ実践するようにしている”人が、男性 34.4%、女性 54.2%であった。



※「食育」とは自然環境の中で生かされていることを認識して、健全な食生活を実践することができる人づくりやみんなが健全な食生活を実践しやすい環境を育てるプロセスです。

朝食の摂取、食事づくりの状況、郷土食の認知、食事バランスガイドの認知、栄養成分表示の利用状況との関連をみると、食育に“関心がある”人ほど、望ましい習慣や行動がみられた。

